

竜王町水道事業会計 決算の概要

～数字から見る水道事業の現在地～

令和7年度はこんな1年でした

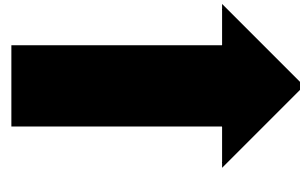
1年間の最終的な黒字額	約843万円	前年度から約402万円減少
水道料金収入	約2億6,178万円	前年度から約645万円減少
有収率	91.3%	前年度から2.2ポイント低下
施設整備・借入金返済に使った金額	約9,980万円	

水道事業のお金の仕組み

水道事業には「日々の運営」と「施設整備・借入金返済」という2つのお金の流れがある。

○日々の運営

水道料金など



県から水を購入する費用
維持管理費
人件費など

日々の給水を維持する

= 収益的収支（第3条）

水道事業のお金の仕組み

○施設整備・借入金返済

補助金・借入金・
内部資金など



水道管や施設の
整備、更新
借入金の返済など

将来も安定して水を届ける

= 資本的収支（第4条）

水道の利用状況

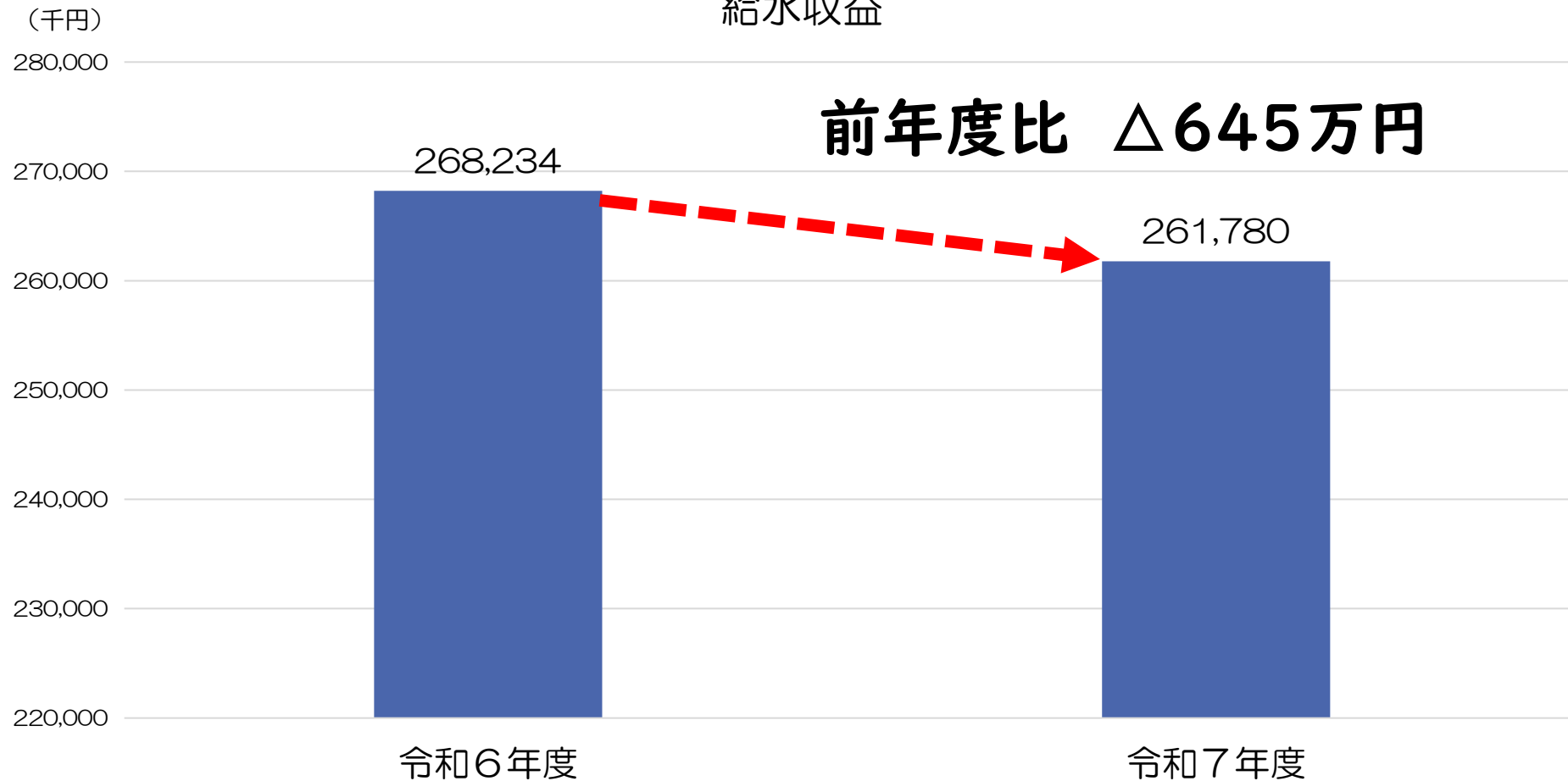
前年度との比較

項目	令和6年度	令和7年度	増減
給水人口	10,833人	10,683人	△150人
配水量	1,518,186m ³	1,498,039m ³	△20,147m ³
有収水量	1,419,070m ³	1,367,149m ³	△51,921m ³
有収率	93.5%	91.3%	△2.2ポイント

水道料金収入の状況

水道料金は水道事業の収入の約8割を占める、最も重要な収入

給水収益



給水人口や有収水量の減少に伴い、料金収入も前年度を下回った

1年間に入ってきたお金

収益的収入 約3億2,937万円

主な収入	金額	割合
水道料金 (給水収益)	約2億6,178万円	79.5%
町等からの補助金	約3,059万円	9.3%
長期前受金戻入	約2,507万円	7.6%
特別利益(※)	500万円	1.5%
その他	約693万円	2.1%

過去に施設整備のために受けた補助金や受贈した資産を、施設の使用期間に合わせて毎年収益として計上するもの

※特別利益・・・令和6年度に発生した岡屋地先企業庁送水管漏水に係る保険金

1年間にかかったお金

収益的支出 約3億2,094万円

主な費用	金額	割合
県から水を購入する費用 (受水費)	約1億3,800万円	43.0%
減価償却費	約8,753万円	27.3%
委託料	約3,522万円	11.0%
人件費	約2,804万円	8.7%
企業債利息	約1,720万円	5.4%
その他	約1,495万円	4.6%

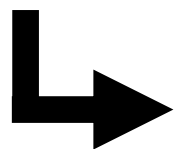
水道管や施設を整備した経費を、毎年費用として計上するもの

前年度より利益が減少した主な理由

令和6年度

黒字

約1,245万円



【利益を減らした主な要因】

・水道料金収入の減少 約645万円

・減価償却費の増加 約2,049万円

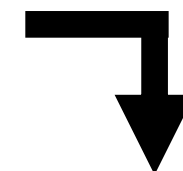
・企業債利息の増加 約401万円

【利益を増やした主な要因】

・長期前受金戻入 約833万円

・特別利益 500万円

※その他の収益・費用の増減 約1,360万円



令和7年度

黒字

約843万円

施設整備と借入金返済

資本的支出 約9,980万円

建設改良費 : 約5,309万円 水道管の整備に使ったお金

企業債償還金: 約4,671万円 過去の施設整備で借りたお金の返済

資本的収入 約501万円

補助金 : 約501万円 整備に係る国からの補助金

不足する約9,479万円は内部資金等で補てんしている

なお、この不足額は日常の水道事業で発生した赤字ではない

現在の経営状況

年度末の現金残高

約3億6,336万円

今後の工事や支払いに備えるお金

企業債残高

約15億9,079万円

今後返済していく借入金

水道料金未収金（納期到来分）

約408万円（※）

前年度末から約108万円減少

催告や自宅訪問等により、引き続き回収に取り組む

※未収金総額ではなく、令和7年度末時点で納期限が到来している金額

令和7年度決算から見えること

【令和7年度の状況】

1年間の収支は黒字となった

給水人口、有収水量、水道料金収入は減少した

有収率は前年度を下回った

施設整備に伴い、減価償却費や企業債利息は増加した

水道管の更新や借入金返済は今後も継続する